

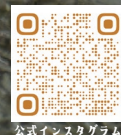
まほろん

通信



- ・まほろん2025年度スケジュール
- ・レポート 実技講座「縄文土器づくり」
- ・学芸員のひとりごと「発掘調査の大発見」
- ・まほろん収蔵資料紹介
国指定重要文化財「法正尻遺跡」

写真:実技講座「縄文土器づくり」での作業風景です。
また本誌3ページでは実技講座での活動の記事が掲載されています。



公式Instagram



公式YouTube

まほろん 2025 年度

スケジュール

2025 年度の行事をご案内します。事前申込が必要な場合がありますので詳しくはお問合わせいただくか当館ホームページをご確認ください。

	イベント・特別体験	実技講座・まほろん森の塾	講演会等	企画展
4月	● 4月26日(土)～ 5月6日(火・振休) まほろん ゴールデンウィーク 特別体験 9:30～16:00 	● 4月以降 「まほろん森の塾」募集 ● 随時受付 web 配信 「おうちでできる土器づくり」 受付・焼成のための持込・お引き取りの計3回ご来館いただく必要があります。	● 小学4年生～中学生を対象とした通年型の体験学習です。4月以降に募集し、6月から12月の間に5回活動する予定です。	● 4月1日(火)～ 5月6日(火・振休) 「復興祈念展 一人ひとりのいのちの継承」 (後期)
5月		● 第1回まほろん森の塾 ● 6月7日(土)・28日(土) ガラス玉づくり	● 6月14日(土) 第1回館長講演会	
6月		● 第2回まほろん森の塾	● 7月26日(土) きみも考古学者1	● 6月14日(土)～ 9月23日(火・祝) 「U-15の考古学 一発掘調査で 何がわかる？」
7月	● 7月中旬～ 8月中旬 夏休み特別体験 	● 8月2日(土)・3日(日) U15 実技講座 「土器をつくろう」、 「土偶をつくろう」	● 8月6日(水) きみも考古学者2 ● 8月23日(土) 第2回館長講演会	
8月			● 9月21日(日) 第3回館長講演会	
9月		● 第3回まほろん森の塾 ● 10月19日(日) 「大堀相馬焼体験①」		
10月		● 第4回まほろん森の塾 ● 11月29日(土) 「編み組み体験」	● 11月15日(土) 企画展 新収蔵資料展(仮) 関連講演会1	● 10月25日(土)～ 12月14日(日) 「新収蔵資料展」(仮)
11月	● 11月1日(土)・ 2日(日) 「まほろん感謝デー」	● 第5回まほろん森の塾 ● 12月14日(日) 「大堀相馬焼体験②」 	● 12月7日(日) 第4回館長講演会 ● 12月13日(土) 企画展 新収蔵資料展(仮) 関連講演会2	
12月	日頃のご愛顧に感謝して、2日間だけ特別な体験メニューをご用意します。	2024 年度の作品 	● 1月24日(土) 企画展 ふくしまの縄文・弥生時代 関連講演会1	● 1月24日(土)～ 3月15日(日) 「ふくしまの縄文・弥生時代 一見川流域の遺跡」 (前期)
1月	体験活動室のご案内 大人気の勾玉づくりや火おこしの他、月替わりで体験メニューをご用意しております。最新の情報は館内掲示やホームページでご確認ください。	● 1月31日(土)～2月6日(金) 「縄文土器づくり」 本物の土器をよく観察して、本格的な縄文土器をつくります。	● 2月21日(土) 第5回館長講演会	(後期) 4月4日(土)～ 5月10日(日)
2月		● 3月20日(金・祝) 「縄文土器づくり：野焼き」	● 3月14日(土) 企画展 ふくしまの縄文・弥生時代 関連講演会2	
3月				

※日程等、変更になる場合があります。

《材料・道具》

- ・よく練った粘土 1.2 kg
- ・LRの小さくて細い原形
- ・ヘラ状の串 1本 (施文用)
- ・直径 5 mm くらいの竹管 1本 (注口部用)
- ・直径 1.5 mm くらいの竹管 1本 (施文用)
- ・細串 1本 (施文下書き用)
- ・ツルツルの石 (ミガキ用)

《成形》

- ①輪積み法で成形する。一気に積み上げて OK!
- ②口縁部の突起をつける。
- ③注口部をつくる。竹管を芯にして成形するといふ。
- ④注口部 (芯の竹管ごと) をつける。

《施文》

※成形後、最低でも1時間、できれば3時間程度乾かしてから施文するとよい

1. 細串で薄く文様の下書きをする。
2. 下書きをした文様の中に、LR 原形で線を主に横方向に転がす。(充填縄文) LR →
3. 下書き線を 1.5 mm 竹管で本書きする。※中央の沈線は一番最後にかく
4. 口縁部の沈線をかく。ベストのタイミングは、粘土がだいぶ乾いて半乾くらいの硬さになったとき。かくというより、彫るイメージ。
5. 無文部をなでてきれいにする。
6. 1日程かわかしてから、無文部を磨く。

コツ・ポイント

そろばん玉のようなフォルムを成形するのが難しいです。成形の途中でなぜかタタにわれてきました。口縁部のシャープさを出すのも粘土が若干硬くなってから成形すると良いですがタイミングを掴むのが難しいです。注口部は見つからないので、推定しながらつづかなければいけません。タタに割れたり、納得のいく形にならなかったりして、3回作り直しました。もう作りたくありません...



ワタシが
作りました。
手間はかか
りません。

宮内 A 遺跡注口土器レシピ

炎を
焼けないように
グローブ、タオルなどで完全防備



3/9 野焼き後、受講者のみなさんで記念撮影

今回のテーマは、「縄文人の土器づくりを真似してみる」です。
題材には、飯館村と南相馬市、磐梯町の遺跡から出土した縄文時代後期の土器で一風変わったものを選びました。計6点の土器をあらかじめ担当者の手によって模擬製作して、料理のようなレシピを用意しました。

最初にそれぞれの土器をよく観察して、自分で作れそう
で、且つ作りたい土器を選んでももらいました。製作を始める前にも実際に手に取りさらに詳しく観察して、図面に成形の注意点や施文方法などを書き込んで製作工程を整理してから、いざ開始。

レポート 実技講座 「縄文土器づくり」

文：嶋村 一志 (学芸員)

まほろんでは収蔵資料をもとに縄文土器を制作する実技講座を行っています。今回は講座の様子をご紹介します。



もくもく 黙々と製作するようす

受講者同志で和気あいあいとするのもあれば、途中すごい集中力で何十分も静まり返ることも!! 沈黙に耐えられず、思わず担当から声を上げてしまった程でした(笑)。

今回は、好天に恵まれてめでたく野焼きまで実施することができました。すべてが無事ではありませんでした。苦勞して作った土器の焼き上がりを感じ深く見つめていました。

「発掘調査の大発見」

まほろんの常設展示室で展示解説をしながら、来館者のみなさんとお話している

と、「担当した発掘調査で一番の大発見は何ですか?」とよく質問される

ことがあります。今回は、私が担当した玉川村江平遺跡から出土した木簡を紹介

しましょう。

この木簡は「天平十五(七四三)年三月に皆麻呂が金光明最勝王経と大般若経をたくさん唱えた」ことを記録するものです。

奈良時代の出来事を記した歴史書『続日本紀』によると、天平十五年正月十三日に聖武天皇が東大寺の僧侶に49日間の金光明最勝王経の読経を命じています。同年三月三日には聖武

天皇が右大臣の橘諸兄を東大寺に派遣し、49日間の読経を終えた僧侶を労わせたという記事があります。

江平遺跡の木簡は、続日本紀に書かれた読経の日付が一致するだけでなく、僧侶でもない皆麻呂が聖武天皇の命令以上にたくさんのお経を読んだことをアピールしている点が重要です。

さらに天平十五年から約50年後の江平遺跡では、皆麻呂による読経の功績でしようか、集落の中に「お寺」が建てられたことが確認されています。歴史書の書か

れている出来事が都から遠く離れた陸奥国でも実際に行われていたことを発掘調査によって証明されたものとして大発見といえます。

最□□佛説大□功德四天王經千巻 又大□□經百巻

般

合千巻百巻謹皆麻呂精誦奉

天平十五年三月〇日

江平遺跡出土 木簡

まほろん
学芸員の
ひとりごと
第四回
文 福田 秀生
(学芸課長)

国指定重要文化財 法正尻遺跡

国指定重要文化財 法正尻遺跡の遺物を展示している「国指定重要文化財コーナー」について紹介します。

文：茂木 琢馬（学芸員）



法正尻遺跡は、福島県耶麻郡磐梯町と猪苗代町にまたがって所在する縄文時代中期を主体とした遺跡です。この遺跡は、磐越自動車道の建設に伴い、昭和63年から平成元年までの2ヶ年にわたって発掘調査が行われました。調査の結果、完全な形の縄文土器のほか、土偶などの土製品、ヒスイ製の珠などの石製品、石器など約26万点が出土しており、その内855点が国の重要文化財に指定されています。

まほろんでは常設展示室に「国指定重要文化財コーナー」を設けて、この法正尻遺跡から出土した重要文化財の遺物を展示しています。数ヶ月に1回展示替えをしており、令和7年度4月から7月初めまでは右の写真の縄文土器を展示する予定です。

この土器は住居跡から見つかった高さ33.5cmの深鉢で、縄文時代中期初めごろ（約5400年前）のものです。特徴の1つにヘビの装飾を有していることが挙げられます。縄文時代には人物や動物の装飾が施された土器が見られることがあります。この土器の口縁部を見てみると三角形の突起が確認できます。これがヘビの頭を表現していると考えられています。その他にも胴部に描かれた三角形、丸形の文様や勾玉のような形をした模様などバラエティに富んだ装飾が見られる土器です。重要文化財を間近で見られる貴重な展示でもあるので、ぜひ直接足を運んでご覧いただければと思います。

ヘビに見える。。。 ↓



写真1 法正尻遺跡出土 縄文土器（部分）



写真2 法正尻遺跡出土 縄文土器（全体）

注目ポイント

ヘビの装飾

- Q1. ヘビは何匹いるかな？
Q2. どんな様子を表現しているだろう？

答えはまほろんの展示室にあるよ！さばしに来てね。



写真3 上からのぞいたようす



写真4 法正尻遺跡 国重要文化財コーナー

まほろん令和7年度企画展

U-15の考古学

発掘調査で何がわかる？

6月14日（土）▶9月23日（火・祝）

土の中に埋もれた昔の人々の痕跡を掘り起こして歴史を調べる「発掘調査」から何がわかるのか。この展示を観れば、これから始まる歴史の学習が、もっと楽しくなるかも？！

編集後記

まほろんでは昨年度に引き続き、4/1から浜通りを舞台にした復興祈念展（後期展）が始まりました。今年のまほろんの企画展は福島県内の中通り、浜通り、そして会津と県内の各地域を網羅する予定です。展示で旅する、むかしむかしの福島県をお楽しみください。



まほろん
通信
vol.95

令和7年4月16日発行

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）

休館日 月曜日（4/28、5/5、7/21を除く）、
4/30、5/7、7/22

入館料 無料（体験学習によっては、材料費が必要な場合があります。）



〒961-0835
福島県白河市白坂一里段86

☎ 0248-21-0700

Fax 0248-21-1075

ホームページ まほろん 検索



HP



MAP